

身体で操るバランスボール型 インターフェースシステムの開発

開発者：安本 匡佑
坂井 理笑

全身を動かして操作するインターフェース



開発の背景

- 精度や操作性を重視し、体をあまり動かさないインターフェースの蔓延
- 長時間PCを使用した労働、ゲームなどによる運動不足

開発の目的

- 健康的な作業環境の実現
- 新たな楽しさの実現
- 自覚的な身体の実現



